

# サムエル

## 第1 サムエル記 1-3章

1. 今日のお話<sup>きょう はなし</sup>に登場<sup>とうじょう</sup>した人<sup>ひと</sup>の名前<sup>なまえ</sup>を覚えて<sup>おぼ</sup>いるかな？ ( ) に書いてね。

「男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>を<sup>あた</sup>与<sup>くだ</sup>えて下さい」と熱心<sup>ねっしん</sup>に ..... ( )  
祈<sup>いの</sup>っていた母親<sup>ははおや</sup>

男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>を預<sup>あず</sup>かって神<sup>しん</sup>殿<sup>でん</sup>で育<sup>そだ</sup>てた祭<sup>さい</sup>司<sup>し</sup> ..... ( )

幼<sup>おきな</sup>いうちから神<sup>しん</sup>殿<sup>でん</sup>で祭<sup>さい</sup>司<sup>し</sup>の ..... ( )  
手<sup>て</sup>伝<sup>つた</sup>いをしなが<sup>せい</sup>ら成<sup>せい</sup>長<sup>ちやう</sup>した預<sup>よ</sup>言<sup>げん</sup>  
しや

2. サムエルが眠<sup>ねむ</sup>っていたとき「サムエル、サムエル」と呼<sup>よ</sup>んでいたのは、どなたでしたか？

祭<sup>さい</sup>司<sup>し</sup>エリ      母<sup>かあ</sup>さん      神<sup>かみ</sup>さま      目<sup>め</sup>覚<sup>ざ</sup>まし時<sup>ど</sup>計<sup>けい</sup>      ピーター・パン

3. 私<sup>わたし</sup>たちも、神<sup>かみ</sup>さまのこ<sup>こと</sup>ばを聞<sup>き</sup>くことができると思<sup>おも</sup>いますか？ どん<sup>ど</sup>なふう<sup>ふう</sup>に神<sup>かみ</sup>さまのこ<sup>こと</sup>ばを聞<sup>き</sup>くことができるで<sup>せ</sup>しょうか？ (例<sup>れい</sup>：聖<sup>せい</sup>書<sup>しょ</sup>を<sup>よ</sup>読<sup>よ</sup>む)

4. 神<sup>かみ</sup>さまは、サムエルが『お話<sup>おはなし</sup>し<sup>してください</sup>。しもべは聞<sup>き</sup>いてお<sup>お</sup>ります』と言<sup>い</sup>ったとき語<sup>ご</sup>って<sup>ください</sup>ました。神<sup>かみ</sup>さまのこ<sup>こと</sup>ばを聞<sup>き</sup>くた<sup>ため</sup>に、私<sup>わたし</sup>たちは、心<sup>こころ</sup>をど<sup>ど</sup>のよう<sup>よう</sup>にす<sup>す</sup>れば<sup>よ</sup>い<sup>い</sup>で<sup>で</sup>しょうか？

# はじめの王サウル

## 第1 サムエル記 8-10章

1. サムエルは「王様を立ててください」という民の願いが気に入りませんでした。何が悪かったのでしょうか？

- ( ) 王様を選ばないと、自分が威張れなくなるから
- ( ) 王様を選ぶのがめんどくさかったから
- ( ) とにかくイライラしていたから
- ( ) 神さまこそが、イスラエルを守り・祝福してくださる王様だから

2. サウルはどんな人でしたか？ 9章2節を読んで、正しい方を○でかこんでね。

( 美しい ・ おもしろい ) 若い男で、 ( ジャニーズ事務所 ・ イスラエル人 ) の中で彼より美しい者はいなかった。  
彼は民のだれよりも、肩から上だけ ( 安かった ・ 高かった ) 。

3. サウルを初めの王様に選んだのはだれですか？

ロバ      イスラエルの民      みのもんだ      サムエル      神さま

4. サムエルがサウルに油を注いだ帰り道、神さまは、サウルをどのようにされましたか？ (10章9 - 10節)

5. あなたは、心の王様であるイエスさまに喜ばれる生活をしていますか？

# あぶら そ そ 油を注がれたダビデ

## だい き しょう 第1 サムエル記 16章

1. サムエルが、エリアブを見て「確かに、主の前で油をそそがれる者だ。」と思ったとき、神さまは何と言われましたか？

人は（ ）を見るが、  
主は（ ）を見る。」

2. ダビデはどんな人でしたか？16章の12節と18節を読んで、下に書き出してください。

3. 「うわべ」とは、どんなものがあるでしょう？あなたが自分やお友だちのどんな「うわべ」を見ているか、思い出して書いてみましょう。

4. 神さまは、あなたのうわべではなくて、心に関心をもってくださっていることがわかりましたね。では、あなたは、どのようにすれば、神さまに喜ばれると思いますか？

# ダビデ 対 ゴリヤテ

## 第1 サムエル記 17章

1. ダビデがゴリヤテに<sup>ゆうかん</sup>勇敢に<sup>たむ</sup>立ち向かうことができたのは、なぜですか？
2. ダビデがゴリヤテに<sup>か</sup>勝てた<sup>り</sup>理由は<sup>なん</sup>何だと思いませんか？<sup>ただ</sup>正しいと思えるものに○をしてね(いくつでも)。
  - ( ) ゴリヤテは、カラダが<sup>おお</sup>大き<sup>じつ</sup>いだけで、<sup>よわ</sup>実は弱<sup>おも</sup>かったから
  - ( ) 神さまがダビデとともにいたから
  - ( ) ダビデが神さまを<sup>しんらい</sup>信<sup>しん</sup>頼<sup>らい</sup>していたから
  - ( ) ダビデが、<sup>ひつじ</sup>羊<sup>まも</sup>を守る<sup>しごと</sup>仕事を<sup>ふだん</sup>普段から<sup>しんけん</sup>真<sup>ま</sup>剣<sup>けん</sup>にしていたから
  - ( ) ゴリヤテは、<sup>ま</sup>待<sup>あ</sup>っている<sup>あ</sup>間<sup>なか</sup>にお腹<sup>なか</sup>がすいて<sup>あ</sup>へ<sup>あ</sup>口<sup>あ</sup>へ<sup>あ</sup>口<sup>あ</sup>だったから
  - ( ) 神さまが<sup>しょうらい</sup>将<sup>お</sup>来<sup>う</sup>、<sup>お</sup>ダビデ<sup>う</sup>を<sup>お</sup>王<sup>う</sup>様<sup>う</sup>にする<sup>じゆんび</sup>準備<sup>じゆんび</sup>のため
  - ( ) 神さまがダビデの<sup>いし</sup>石<sup>はたら</sup>に働<sup>ひたい</sup>いて、<sup>めい</sup>額<sup>ちゆう</sup>に命<sup>ちゆう</sup>中<sup>ちゆう</sup>させてくださったから
  - ( ) ダビデの<sup>いし</sup>石<sup>じょうず</sup>投げ<sup>じょうず</sup>が上<sup>じょうず</sup>手<sup>じょうず</sup>だったから
3. <sup>いま</sup>今<sup>おそ</sup>、あなたには<sup>おそ</sup>恐<sup>おそ</sup>れて<sup>おそ</sup>チャレンジ<sup>おそ</sup>できない<sup>おそ</sup>ことがありますか？それは何ですか？
4. <sup>おお</sup>どんな<sup>おお</sup>大きな<sup>こんなん</sup>困<sup>こん</sup>難<sup>なん</sup>があっても、<sup>ひと</sup>チャレンジ<sup>ひと</sup>できる<sup>ひと</sup>人<sup>ひと</sup>になる<sup>ひと</sup>ために、<sup>ふだん</sup>あなたは<sup>ふだん</sup>普段<sup>ふだん</sup>から<sup>ふだん</sup>ど<sup>ふだん</sup>んな<sup>ふだん</sup>ことを<sup>ふだん</sup>しますか？<sup>ぐ</sup>具体的<sup>か</sup>に<sup>か</sup>書<sup>か</sup>いて、<sup>きょう</sup>今日<sup>はじ</sup>から<sup>はじ</sup>始<sup>はじ</sup>め<sup>はじ</sup>ま<sup>はじ</sup>しょう。